

福井県公安委員会 開催概要

令和3年2月18日開催 「定例公安委員会」



会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) Web会議ネットワークの運用

県警察から、警察業務のデジタル化の一つであるWeb会議ネットワークの運用について報告があった。

委員から「いくつか不具合があるということで、新システムにより安全で安心して使用できる環境を整備することにより様々な業務に活用できるので、業務の効率化、デジタル化に寄与し、治安基盤の充実を図っていただきたい。」との発言があった。

委員から「業務のデジタル化により時間の節約が一番顕著に表れ、業務の効率化に繋がると一方で、対面での業務も必要な部分があると思うので、両方を組み合わせながら最適な運用をお願いしたい。」との発言があった。

委員から「警察でも新型コロナウイルス感染症対策により、Web会議等の導入が一気に進んだ。警察の場合、セキュリティに関しては民間より重要視されていると思うが、対策には万全を期していただきたい。」との発言があった。

(2) 令和3年1月の大雪対応に係る反省・教訓を踏まえた改善状況

県警察から、令和3年1月の大雪対応に係る反省・教訓を踏まえた改善状況について報告があった。

委員から「いずれの改善策についても、雪害時には有効なものだと思う。更に検討を重ね、より効果的な実施をお願いしたい。スノーモービルの活用については、斬新な対処法で驚いたが、良い方法だと思う。」との発言があった。

委員から「災害時に活用する装備品を事前に準備しておくことで、大雪のみならず大雨、台風等の災害時にも活用できるので、しっかり予算要求していくべきだと思う。運用についても、様々な災害に対応できるようマニュアル等を見直していただきたい。」との発言があった。

委員から「短期間に各部にわたって問題点を洗い出し、詳細に改善状況をまとめて次の事案に備えており、大変心強く感じた。また、雪、台風、地震等の災害時には、SU

V車のパトカーの方が効果的に運用できるのではないかと思うので、今後、SUV車のパトカーを含めた車両整備をお願いしたい。」との発言があった。

(3) 令和2年中の飲酒運転の状況等

県警察から、令和2年中の飲酒運転の状況等について報告があった。

委員から「運転免許の取消処分については、ほぼ飲酒運転が原因ということに非常に驚くと同時に、飲酒運転の理由が軽率な内容で憤りを覚える。運転者の意識改革は非常に重要。ハンドルキーパー運動の推進に当たり、インセンティブの付与も考えられないか。」との発言があった。

委員から「なかなか減らないというのが実感だ。取締の強化はもちろんだが、意識付けの強化が非常に大切だと思う。昨年、生命のメッセージ展を見たが、内容が素晴らしかった。このような取組を各地で行って啓発活動を展開してほしい。」との発言があった。

委員から「水面下では検挙されていない飲酒運転が、まだまだあると思う。この人達を減少させなければ飲酒運転や飲酒が起因となる事故は減らないので、自治体や関係団体と連携を図って広報啓発活動を推進するとともに、工夫を凝らした取締も必要だと思う。」との発言があった。

2 個別決裁等

(1) 猟銃安全指導委員の委嘱

猟銃安全指導委員の委嘱について説明を受け、これを決裁した。

(2) 自動車運転代行業者に対する営業停止命令

自動車運転代行業者に対する営業停止命令について説明を受け、これを決裁した。

(3) 集団行動に関する許可事務専決状況

令和3年1月中の集団行動に関する許可事務専決状況について報告を受けた。

(4) 警察職員の援助要求等

山梨、広島両県公安委員会に対する警察職員の援助要求及び、和歌山県公安委員会に行っていた警察職員の援助要求に対する受託について報告を受け、これを決裁した。

3 運転免許の処分関係

本日（2月18日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取8件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。